

「学校関係者評価報告書」の公表について

本校では、以前より教育や業務の改善を図るために、自己点検・評価に取り組んでおります。平成25年度から、卒業生を含め本校に関係の深い企業関連の方々を中心に「学校関係者評価委員会」を設置し、ご意見等をお聞きして、教育活動や学校運営に反映させてまいりました。

本年度は、学校関係者評価委員会を平成30年5月28日に開催しました。その結果を、保護者や地域社会の皆様方に対し、説明責任を果たし、理解と協力を得るために「学校関係者評価委員会報告書」としてここに公表いたします。

学校関係者評価委員会では、本校が行った自己点検評価や学校運営上の重点項目に対して、多くのご意見やご助言をいただきました。本校では、これらのご指導項目を真摯に受け止め、より良い教育、学校運営を実現するために、教職員一同努力して組織的・継続的な改善を続けて参ります。

学校に対するご支援や条件整備等の充実に対して、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成30年6月
学校法人京都中央学院
Y I C 京都ビューティ専門学校
校長 杉山 征人

学校関係者評価委員会報告

今回の学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえ、本校に関係の深い企業等の評価委員に、Y I C 京都ビューティ専門学校「平成28年度自己点検・評価報告書」の「次年度改善計画（重点項目）」を中心に、評価していただいた。

評価委員からの意見は、校長以下、本校で組織する評価委員会が承り、その内容等について要約の上、報告書として取りまとめた。

「平成28年度自己点検・評価報告書」と併せてご覧いただきたい。

学校関係者評価委員会 委員 (敬称略)

委員名	所属等	選出区分
田中 元子	日本マナーマイスター学会 理事 (株式会社京織 代表取締役社長)	職能団体
藤本 圭哉	株式会社ガモウ関西 代表取締役社長	業界企業
*助川 春彦	資生堂プロフェッショナル株式会社 広域統括部 課長	業界企業
越前 多恵子	ワタベウェディング株式会社 アニバーサリーサロン係長	業界企業
藤本 豊士	株式会社レーコ美容室 代表取締役	業界企業
福山 正樹	株式会社レーコ美容室	卒業生

注) * は委員長

任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日

学校事務局（評価委員会）

杉山 征人	Y I C 京都ビューティ専門学校 校長	事務局
細田 元一	Y I C 京都ビューティ専門学校 副校長	事務局
田澤 初美	Y I C 京都ビューティ専門学校 教務課長	事務局
内田 幸治	Y I C 京都ビューティ専門学校 管理部長	事務局

平成 30 年度 第 1 回学校関係者評価委員会 議事録

場 所：YIC 京都ビューティ専門学校 1 号館 3 階 131 教室

日 時：平成 30 年 5 月 28 日（月） 13:30～15:30

参加委員：日本マナーマイスター学会：田中様

ガモウ関西：藤本（圭哉）様

資生堂プロフェッショナル：松下様

レーコ美容室：松岡（藤本（豊士）代理）様

ワタベウエディング：越前様

レーコ美容室（卒業生）：福山様

事務局：杉山校長、細田副校長、内田管理部長、田澤教務課長、山根アメーバ経営推進室長

欠 席：なし

オブザーバー：キャリアサポート室長：飛田、ブライダル学科長：岡澤

記 録：山根

1. 校長あいさつ
2. 教職員紹介
3. 関係者評価委員紹介
4. 定員数確認（副校長）
 - ・ 全員出席で過半数を満たし、本委員会は成立する。
 - ・ 委員長に松下委員を推薦、全員の賛同により承認された。
5. 配布資料等確認

6. 平成 29 年度の自己点検評価結果について（副校長）

以下の項目の説明があった。

 - ① 1. 教育理念・目標
 - ② 2. 学校運営
 - ③ 7. 学生の受入れ募集
 - ④ 8. 教育の内部質保証システム
 - ⑤ 9. 財務
 - ⑥ 10. 社会貢献・地域貢献
 - ⑦ 11. 国際交流

7. 平成 29 年度自己点検評価への意見等

大項目名	項目番号	ご意見（委員）	回答（事務局）
1. 教育理念・目標	1-2	昨今、美容業界ではオートシャンプーの新製品、オートドライも発売される。また、オートネイルもある。人材不足を機械化で補う方向である。アプリでのカラーを相談やスマートミラーなど AI、IoT 化が進んでいる。	-
2. 学校運営	2-12	美容室の現場では e-learning をまだまだ活用できていないが、学校ではどのような状況か。	リメディアル教育、グループウェアを用いたもの、理美容センターのものを取り入れている。ベースとなるものは導入しているが本格的な研修としては不十分。
2. 学校運営	2-14	クレームの対応は機械化が進むほど発生しやすくなるが、どの様にして人と人との対応に落とし込んでいるのか。	対応フローを作成し、経営計画書に基づいた行動基準で対応している。
8. 教育の内部質保証システム	8-8	教員の確保に対してネットワークサロンが具体的に機能して確保できているのか。	常勤の枠は充足している為、非常勤講師で現場から来て頂いている。
-	-	美容業界で専門学校を探すと資料等で知る事が出来るが、外部に対する宣伝はどの様にしているのか。	高校生に直接打ち出す方法を重視している。主に高校生への宣伝媒体を利用した PR を行っている。
-	-	学校の実習場を美容所として利用し、ネットワークサロンと提携してみてはどうか。現場としてはアシスタントから技術者になった際にお客様に入れたい事が課題である。うまく連携できれば学校とサロンとの結びつきもより強固となる。	美容所に関しては以前から検討している。要件を満たせるのかまずは確認する。

8. 今後の予定（副校長）

年 1 回の実施のため、平成 30 年度の委員会はこれで終了。

※委員会開催の必要がある場合はお声掛けする。

以 上